

広報 しばた

ドキドキワクワクの一日入学

町内の各小学校で一日入学が行われました。初めて入る一年生の教室に、ちょっと緊張した表情の子どもたちでしたが、先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をする事ができました。入学式まであと1カ月。小学校はみんなが元気いっぱいに登校してくれることを心待ちにしています。
[写真:2月4日(火) 槻木小学校]

令和2年子ども議会

「笑顔の花咲く 柴田町」



お礼の言葉
はりま みなと 播磨 湊斗 君



はじめの挨拶
おはた ゆあ 小畑 結愛 さん



進行
はなざわ しんのすけ 花沢 真之介 君

2月6日(木)、柴田町議会議場で、榎木小学校6年生による「子ども議会」が開催されました。

子ども議会は、児童が主体的にふるさとである柴田町のまちづくりのことを考え、意見交換することで社会のしくみを学ぶとともに、柴田町の未来を担う子どもたちの思いや視点、発想をまちづくりに生かす機会とすることを目的としています。

今回初めて、学校で事前学習会を開催し、児童らは、町の担当者から今後の柴田町のまちづくりについて話を聞いた上で、子ども議会に臨みました。

「笑顔の花咲く 柴田町」をテーマに、堂々と提案する児童たちの姿は、頼もしく、柴田町の明るい未来を感じさせてくれました。

問 教育総務課

TEL 55-2134

さまざまな世代同士が仲よくなれるように



1番
ふじわら ののこ 藤原 乃々子 議員

私は、「笑顔の花咲く 柴田町」にするために、いろいろな人たちとの交流の場をつくることを提案します。

①さまざまな年齢の人と交流ができる場を

②町のお知らせにさまざまな年代の人の意見などを載せてはどうか

答弁 ①藤原議員が言われるように、町でも世代間で交流することは子どもたちが育っていく上でとても重要なものとして捉え、取り組んでいます。

生涯学習センターなどでは誰でも参加できるイベントを開催しています。また、児童館は、小中高校生が自由に過ごすことのできる交流の場となっています。

今後とも、さまざまな年代の方が仲良くなれるようなイベントの開催や、みんなが集まりやすい施設の整備に取り組みたいと思います。

②町の広報紙である「広報しばた」では、1月号で、10代から70代まで、10人の方々の「新年の抱負」を掲載しています。子ども議会についても取り上げ、素晴らしい意見や考えを持ち、提案する小学生がたくさんいることを知ってもらおう良いきっかけになっていると思います。また、町民の皆さんから、ご提案としていただいている「町長へのメッセージ」の一部を掲載していますので、ご覧になっていただきたいと思います。



2番
おと 大友 議員

子どもたちが元気に遊べる町にするために

「笑顔の花咲く 柴田町」

の実現を目指して、私は子どもたちが元気に遊べる町にするために二つの提案をします。

- ①公園をきれいに
- ②室内で遊べるところを

答弁 ①公園の草取りやごみ拾いなどの維持管理は、地域の公園愛護協力会の方々に手伝わしてもらい、きれいな公園が守られています。

榎木小学校で行っているクリーン作戦のほか、榎木中学校や船岡中学校でも公園の清掃活動を行っていただくなど、公園をきれいにする取り組みの輪が広がっています。活動に対し感謝申し上げます。活動に、長く活動を継続して行っていたらと思います。

②町には、誰でも自由に来館できる児童館や船迫こどもセンターがあり、さまざまな遊びを体験できる楽しい施設となっています。

さらに太陽の村では、「太陽の村冒険遊び場」の整備を進めています。木育あそびの部屋を新設したり、室内

ではありませんが、「キッズバイクパーク」の整備も行っています。どうぞ遊びに来てください。

外国人観光客を誘致するために



3番
かとう 加藤 議員

私は、外国人観光客を増やすために二つの提案をします。

①はなみちゃんのアニメーションを作成し、柴田町のYouTubeチャンネルで公開すれば、より多くの人々が柴田町へ来てみたいと思うのではないのでしょうか。

- ①SNSの活用を
- ②はなみちゃんを主役にしたアニメーションの作成を

答弁 ①加藤議員の提案のとおり、外国人観光客を誘致するためにSNSを活用することは、効果がある重要な取り組みだと考えています。

これまで町の取り組みとしては、台湾とタイからユーザーにきていただき、桜まつりの楽しみ方から、お土産、食事、周辺のお店など柴田町の魅力を、YouTubeを通して世界に発信しています。

今後とも、SNSを積極的に活用して柴田町の魅力を世界に発信し、外国人観光客の誘致を図っていきます。

②加藤議員の提案のとおり、「はなみちゃん」を主役にしたアニメーション作品を通して、柴田町に興味を持ってもらったり、観光客の増加に繋がっていくという提案は、素晴らしいアイデアだと思います。前向きに検討していきたいと思えます。



子育て支援のための相談会の開催を



4番
もり 森 議員

私は、子育てをする人たちの相談会を開くことを提案します。

子育てをする人たちは、たくさんの方を抱えて生きていくと思います。そういった人たちが笑顔にならなければ、「笑顔の花咲く 柴田町」は実現できないと思います。柴田町で子育てしたいと多くの人が思ってもらえるような町になっていくことを希望します。

答弁 保健センターでは、妊娠中のお母さんや小学校に入る前のお子さんが健やかに成長できるよう支援しています。子育て支援センターでは、育児不安や悩みなどに個別に相談に応じる窓口の開設などを行っています。

さらに、「子育てサポート」が、子育て家庭に対してアドバイスを行っています。他にも、出産前後の母親の家庭に、ホームヘルパーを派遣する「育児ヘルプサービス」や、令和2年度からの新たな取り組みとして、子育て支援情報を配信する「子育てアプリ事業」を予定しています。

また、保育所や児童館、放課後児童クラブなどがあり、いつでも気軽に相談していただきたいと思っています。

このように町では、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない「子育て支援」を行っています。



5番 若生 議員

槻木地区にも花のイベントを

柴田町には、「桜まつり」、「紫陽花まつり」、「曼珠沙華まつり」など花のイベントが

あります。しかし、そのイベントの多くは船岡で行うことが多いと思います。そこで、私は二つのことを提案します。

①槻木地区でもイベントを
②シクラメンのイベントを

答弁 ①槻木地区は、自然景観を楽しみながら歩くことができ、地域の方とふれあいがら柚子や郷土料理などの「食」も満喫できるといことで、少しずつ地域の魅力が高まっています。また、地域独自のイベントが多いのも特徴だと思っています。

今後、若生議員から提案があった、「町民が参加しコミュニケーションを取ることで、笑顔と自分の町に誇りをもてるようなイベント」を企画・支援していきたいと考えています。

②若生議員から提案のあったイベント名「希望のシクラメン祭り〜次世代へ清純な笑顔をつなぐ〜」は、シクラメンに相応しい素敵なタイトルですので、今後、関係者と相談

してみます。

また、地域資源の花を活用した、柴田町全体が笑顔の花咲くより良い町になるような事業を検討したいと思います。



6番 佐藤 議員

安全な町にするために

私は、安全な町にするために二つのことを提案します。

- ①街灯の増設を
- ②学校近くの信号の時間の延長を

答弁 ①佐藤議員がおっしゃる街灯は、町では防犯灯と呼んでいます。防犯灯の設置は、町と行政区が分担しながら、設置しています。

町は、学校周辺や通学路を優先的に整備してきました。また、地域内の生活道路については、行政区が自ら作った地域計画に基づき、計画的に

設置しています。

今、町では、省エネルギーのLED防犯灯の設置を進めています。令和2年度は、槻木小学校から表蔵王国際、ゴルフクラブまでの道路沿いに設置されている防犯灯の一部をLED化する予定です。

②今回の要望を大河原警察署の交通課に伝えたと、1月17日(金)に、朝と夕方の時間帯において、児童の皆さんが安全に安心して交差点を横断できるよう歩行者青信号の時間を5秒間長くしていただきました。

佐藤議員からも他の児童の皆さんにお声掛けいただき、交通安全に十分注意して横断歩道を渡っていただくようお願いいたします。



6年1組の皆さん



6年2組の皆さん

花の町を より美しくするために



7番
さくち 菊地 隼太 議員

私は、「笑顔の花咲く柴田町」にするために、二つのことを提案します。

① 荒れ地や空き地の整備を
② 桜以外の花のPRを

① 町ではこれまで、「桜公園」や「桜の小径」を整備したり、「植栽会」を行うなど、花の魅力あふれる景観づくりを進めています。また、花や木で地域を豊かに彩り、素敵なまちにしたいという動きは、地域の住民や自治会、団体などに徐々に広がってきています。

今回の提案を受けて、令和2年度に船岡の新築通線沿いの空き地を利用して、スイセ

ンやアジサイ、レンギョウなどの花木を植える「まちなか景観形成事業」を実施することになりました。

② 柴田町では1年を通して「花」を楽しめるイベントを開催しています。

菊地議員の「いろいろな花をライトアップすることにより、夜でも花が楽しめる町を」という提案ですが、昨年度から、花々をライトアップやイルミネーションで飾る「夜の観光(ナイトツーリズム)」を実施しており、これまで以上に内容の充実を図っていきたいと考えています。

今後も継続して「花のまち柴田」をPRしていきたいと考えています。

学校を きれいにしてほしい



8番
あおい 青田 愛理 議員

私たちの学校は、トイレが

きれいになったり、エアコンが入ったりして勉強しやすい環境になってきました。でも、まだ直してほしいところがあります。

そこで、私から学校の直してほしいところを二つ提案します。

① 料理や裁縫をする家庭科室をきれいにしてほしい
② 教室のロッカーを広くしてほしい

ほしい

① 榎木小学校の家庭科室は、調理台や椅子、食器などを保管している棚が古く、雨漏りによる天井の腐食などもみられ、また調理台の横にガス管がむき出しになっていることなどから、家庭科室全体の改修が必要と考えています。

② 榎木小学校では、小さいもう一つのロッカーを設置したり、個人のプリントや教科書を入れるボックスファイルを用意するなど、学校の先生のアイデアや工夫で対応していただいています。また、児童

の皆さんもそれらを丁寧に使用して、勉強に励んでいることは、素晴らしいことだと思います。しかし、榎木小学校には、他にも優先しなければならぬ課題があり、家庭科室や教室のロッカーの改修工事に、早急に取り組むことは難しい状況となっています。

まずは家庭科室のクリーニングなどの検討を行いながら、今後も学校施設の環境整備に取り組んでまいります。

※議事の内容を抜粋して掲載しています。



おお 太田 ひなな 議長

私は、前日まで、嘸まずに言えるように何回も何回も練習しました。その成果が表れ、本番はとても上手に言えたのでうれしかったです。今までこんな経験はなかったので、これからも積極的に引き受けたいです。

そして、「笑顔の花咲く柴田町」にしていきたいです。

議長・副議長を経験して



おか 岡田 ゆき 副議長

ぼくは、間違えないように、そして嘸んだりしないように家でたくさん練習しました。前日は、すごく緊張して何回も練習しました。おかげで、本番当日子ども議会をやり遂げることができました。

これからは、子ども議会や社会で習ったことを生かして、柴田町をもっと明るくしていきたいです。



6年3組の皆さん

柴田町・北上市 姉妹都市締結40周年

さらなる友好関係の構築を願い固い握手



柴田町・北上市 姉妹都市締結 40周年記念式典

令和2年2月10日、岩手県北上市で、姉妹都市締結40周年を記念する式典が、両市町から関係者84人が出席し、行われました。

滝口茂町長と、高橋敏彦北上市長が、それぞれ「姉妹都市宣言書」に署名し、姉妹都市の再宣言を取り交わしました。

あいさつで、滝口町長は、「この40年間築き上げてきた交流の絆は、かけがえのないものです。40年間に著しい発展を遂げてこられた北上市。その北上市の都市政策や産業政策などに学んできた柴田町。両市町には、他の地域と比べものにならないほど交流の成果が生まれています。これからも交流の絆を大切に、さらに交流の幅を広げて、関係人口の拡大を図っていきたい」と述べ、高橋北上市長は、「この40年の間、柴田町

とのいろいろな交流の中で、勉強させていただきながら、北上市も大きく発展することができたということで大変感謝しています。40年前の姉妹都市締結の際にお話のあった、普段着のお付き合いで今までやってこられたのではないかと思っております。これからもぜひこの普段着のお付き合いをさせていただきたい」と述べられました。

記念式典では、高橋北上市長と滝口町長による記念対談も行われました。記念式典終了後は、祝賀会が開かれ、関係者らは、40周年を祝いながら、さらなる交流を誓い合っていました。



昭和55年、姉妹都市締結調印式での
齋藤元北上市長(右)と平野元町長

北上市との 姉妹都市締結の経緯

姉妹都市の締結は、相互の絆を強くするだけではなく、文化・教育・生活・産業などのあらゆる面で交流が盛んになり、まちづくりに大きく貢献します。

昭和54年、当時の柴田町では、町に活力を与えたいという思いから、姉妹都市締結に向けた調査が進められ、北上市が候補に挙がりました。

北上市が候補となった背景には、片道2時間で訪れることができ、日帰り可能な範囲で交流がしやすい点や、桜の名所であること、シンボルとしての観音像があること、2つの河川が流れ、合流する地であることなど、類似するところが多い点、北上市は、内陸型工業地帯として充実しており、同じように内陸型工業の町である柴田町の将来にとって学ぶべきことが多い点

が挙げられました。また、歴史的に見ても、終

戦直前に北上市の黒沢尻高等女学校の生徒が、旧船岡海軍第一火薬廠へ動員されたこと、原田家の家来が北上市へ移住したことなど、深い関わりがあります。

そして、柴田町から姉妹都市締結の申し入れを行うと、北上市から了承していただき、

昭和55年1月25日に、柴田町で姉妹都市締結の調印式が行われました。

姉妹都市締結書には、「相互の理解と友好親善を深め、社会・経済・教育・文化など広く交流を図る」とあり、それから40年、柴田町と北上市の間では、住民間や議員、職員同士による交流が、スポーツや伝統芸能などの多くの分野で活発に行われ、友好を深めています。

平成9年11月には、災害時に児童生徒の受け入れや被災者の住宅あつせんなどを行う、相互応援協定を結ぶなど、さらに強い絆で結ばれ、姉妹都市締結は、両市町の発展に大きな影響を与えています。

豊かな自然と 先端技術が調和した 魅力あふれるまち

北上市は、岩手県の内陸中部、北上平野のほぼ中心に位置し、北上川と和賀川が合流する山々に囲まれた自然豊かなまちです。

古くから交通の要衝として栄え、市内の東西南北を鉄道と道路が交差し、また高速交通体系も整備され、利便性が高い地域です。

現在の北上市は、平成3年4月1日に、旧北上市、和賀町、江釣子村の3市町村合併により誕生し、令和3年に市制30年を迎えます。

合併当初、8万3千人余りだった人口は、9万人を超え、農業出荷額、工業出荷額とも県下有数の実績をもち、近年、大規模な半導体工場が進出し、関連企業の立地も相次ぐなど、活気ある都市として注目を集めています。

北上市とのこれまでの主な交流

昭和55年1月	姉妹都市締結調印式(柴田町)
5月	両市町ラグビースクールの姉妹クラブ結成式と親善大会(柴田町)
8・9月	両市町の住民がそれぞれのゴルフ大会に参加
昭和56年6月	柴田町農村青少年クラブと北上市緑友会が交流(北上市)
8月	柴田町民号(特別臨時急行列車)で北上市へ友好親善の旅 町民211人が参加
昭和58年10月	第1回北上市民号の旅 しばた菊人形まつりを見学
11月	両市町スポーツ少年団のバレーボールチームの交流試合(柴田町)
昭和60年1月	姉妹都市締結5周年記念式典(北上市)
5月	両市町老人クラブ連合会が交流(北上市)
10月	少年野球チームの親善交流試合(柴田町)
昭和62年8月	北上市農協青年部会員が柴田町の農家で農業研修
平成2年1月	姉妹都市締結10周年記念式典(柴田町)
平成4年10月	柴田町民文化祭、北上市民芸術祭に作品交流出席
平成9年11月	北上市・柴田町災害時相互応援協定調印式(北上市)
平成12年1月	姉妹都市締結20周年記念式典(北上市)
平成22年1月	姉妹都市締結30周年記念式典(柴田町)
11月	姉妹都市交流バス事業で上川名地区住民が北上市黒岩地区を訪問、交流
平成23年11月	姉妹都市交流バス事業で北上市黒岩地区住民が上川名地区を訪問、交流
平成28年4月	北上市長、副市長、市議などが柴田さくらマラソンに参加
9月	町制施行60周年記念式典において、北上翔南高校生徒が「鬼剣舞」披露
令和元年10月	北上市から、台風19号により発生した災害に対する見舞金が贈られる
令和2年2月	姉妹都市締結40周年記念式典(北上市)



上川名地区で行われた北上市黒岩地区の皆さんとの交流

市民・町民ゴルフ大会、 柴田さくらマラソンについて

高橋市長 柴田町さんのゴルフ大会は盛大で、私も参加させていただいたことがあります。町長さんは、ゴルフはやられなかったのでしょうか。

滝口町長 私は、スポーツというよりも花のほうであります。ただ、必ず大会の表彰式のほうにはプレゼンターとして参加しております。

高橋市長 さくらマラソンにも参加させていただきま

した。白石川の堤防沿いを走るので、満開の桜がきれいで、気持ちがいいですね。何人くらいの参加者がいらっしやるのでしょうか。

滝口町長 選手は約3千人ですが、応援する方なども含めると、大体6千人くらいの規模になります。

高橋市長 多くのボランティアの皆さんが盛り上げてくださっています、参加して楽しいと思えました。
滝口町長 このさくらマラソンには、町はほとんど関わっていません。町民主体

で行われています。

高橋市長 今年は4月11日に開催されるということで、もう私の手帳にも書いてあります。また楽しませていただきたいと思っています。

災害について

高橋市長 平成9年に災害時相互応援協定を締結し、昨年の台風19号の際には、副市長が、災害見舞金を柴田町さんへお持ちしました。災害ごみ大変ご苦労されているというお話を伺いました。

滝口町長 柴田町にも白石

川と阿武隈川という二つの川が流れています。

今回の台風19号では、阿武隈川に相当被害があり、その周辺の住宅で床上浸水が多く発生しました。

ごみをきちんと分別しないで搬入されたり、今

回の台風とは関係のないごみが搬入されたりしまして、予想以上に処理に時間がかかるというのが実情です。
高橋市長 話を聞きながら、私たちも災害が発生する前に準備をしておかなければならないという思いを強くしたところです。

伝統芸能について

滝口町長 北上市さんの

「鬼剣舞」は、町政施行60周年記念式典で北上翔南高校の生徒さんに披露いただきましたが、やはりこれからのまちは、伝統文化を次の世代に引き継げるまちと

いうのが、元気で持続的なまちに繋がるのではないかと考えています。伝統文化やスポーツ、市民の力というのを伸ばしていける町や市ということをやっているればと思っています。このような伝統文化があるというのほうらやましいです。

高橋市長 柴田町さんにも大黒舞や神楽というのがあ

るようですが。

滝口町長 大黒舞は、高橋議長さんのグループや商工会のグループが踊っています。「招福まつり」というイベントがありまして、東北各地の大黒舞の踊り手の方に披露していただいています。岩手県からは、さんさ踊りの踊り手の方に来ていただいています。

高橋市長 北上市では、来年「北上・みちのく芸能まつり」が60回の記念大会になります。各姉妹都市、友好都市から伝統芸能をお呼びし、盛り上げていただけ



北上市長

高橋敏彦



「北上・みちのく芸能まつり」での鬼剣舞大群舞



柴田町長

茂 滝口

す。桜は紅葉の時期もきれいなので、そういったところをコースにするなど、新たな魅力を見つけて、みんなで楽しんでいこうという動きをしています。

滝口町長 白石川堤の一目千本

桜の桜並木のそばに、ヤエベニシダレザクラを植栽し、新たに並木道を造っています。四連桜としてPRしようかと思っています。

千桜公園というところには、黄色いレンギョウという花を植えています。桜のピンクと黄色がよく合います。他に、春一番に咲くツツジやスイセン、チューリップなどを植えて、外国人観光客を呼び込もうとしています。

また、国土交通省の「ガーデンツーリズム登録制度」への登録に向けて、

近隣の2市9町で「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」という組織を立ち上げ、花を中心に人を集めようと動いております。

柴田町は、花でおもてなしをしようと思っています。ご案内いたしますので、ぜひお越しください。

高橋市長 さすが花の大好きな町長さんです。熱意がものすごく伝わってきました。

これからも何度も何度も話し合いながら、お互いに良いものを見せ合いながら、交流が続いていければいいのかなと感じたところです。

そして、普段着のお付き合いができればいいのかなと考えております。

滝口町長 市長さんは、スポーツ万能でいろいろなどころに行かれたり、庶民的な感覚で参加されたりして、楽しんでるように感じます。

私も、スポーツの方にも、



北上展勝地の桜並木

ちょっと力を入れていかなければならないかなと思っています。

高橋市長 北上市民みんなで、ぜひ柴田町に行つて楽しみたいと思います。

柴田町の皆さんも北上市に何回も来ていただければと思います。北上市の桜もきれいですので、ぜひ堪能していただきたいと思っています。

今日はありがとうございました。

問まちづくり政策課

TEL 54-2111

観光資源について

から来年にかけて市をプロモーションしていきたいと考えております。

高橋市長 北上市には、夏

油高原スキー場があります。

今年は、日本全国で雪が少なかったのですが、夏油高原の一番の売りは、豪雪です。一番多く降るときは、5、6mの積雪があり、今年はこちらのほうがよいくらいの約3mの積雪です。多くのツアー客の皆さんが、海外も含めていらしていただいています。

街中には、ちよつと足を延ばすとサイクリングロードもあります。サイクリングロードは、有名な方に監修いただいて、コースを造っています。

また、国土交通省の「ガーデンツーリズム登録制度」への登録に向けて、



163

柴田町長 滝口 茂

3月は卒業式のシーズンです。幼稚園や保育所をはじめ、小学校から大学まで、それぞれの山を登りきった児童や生徒、学生らの成長ぶりや、将来の夢や希望を見つ、目頭が熱くなっています。

特に、これから社会に巣立っていく皆さんには、自分の将来設計をしっかり立てて船出をすることが必要だと思います。

私たちの若い頃と違って、今の世の中は、若者にとって生きづらいものになっています。

例えば、せっかく正社員になり、希望に満ちた人生を歩んでいても、会社の都合で一方的にリストラされたり、職場の人間関係に嫌気が差し、会社を辞めざるを得ない人が結構います。そうになると、アルバイトや契約社員、派遣社員として、少ない給料、不安定な雇用の中で働くことになってしまいます。

一方で、正社員になったとしても、朝6時に出勤し、毎日2、3時間の残業を強要され、帰宅後は、毎晩お酒を飲んで寝るだけ、といった生活を繰り返している人もいます。

今、多くの若者が格差や貧困やパワハラといった社会の不条理の中で、もがき苦しんでいるのがわが国の実状なのです。

卒業シーズンを迎えて

こうした社会の荒波を乗り越えていくためにも、生涯をかけて生きる目標を早く見つけて、その実現に向かって、果敢にチャレンジしてほしいと思います。自分に明確な将来目標があれば、どんなに辛い苦しい場面に出合っても、その壁を乗り越えることができます。皆さんの将来には、数多くの選択の道が用意されています。どの道を選ぶかは、皆さん自身で判断することになります。

ここに来て、若者たちの間で「田園回帰の流れ」が顕著になってきました。殺伐とした都会の中で、孤立しがちな若者たちが、自然豊かな田舎に移り住んで、地域の人たちと生き生きと暮らし始めています。こうした「田園回帰の流れ」は、会社や組織に属さなくとも、地域において自分らしい生き方ができることに気付いた若者によってもたらされたものです。

青春時代はあっという間に過ぎてしまいますし、人生、二度は生きられませ

ずび、卒業式という節目に、これまでの自分を振り返るとともに、二十代において、何を身につけなければならぬかを考えながら、毎日を過ごしてほしいと思います。

卒業する皆さんには、立派な人になるために、明日からまた、自分を磨き、次のステージへと力強く進んでほしいと願っています。

芸術空間

Shibata Art Gallery

No. 7

『仙丹』(彫刻)

及川 茂

「仙丹」とは、仙人の作る「霊薬」。その「仙丹」を求め続ける人々に対し、何のために不老不死を求めなのか。何をするために不老不死を望むのか。仙人は問いたのです。

(文 及川 茂)



及川 茂 (おいかわ しげる)
1940年 岩手県生まれ。
槻木在住。

- 1957年翁朝盛に師事。1959年創型展初入選。以後、河北美術展河北賞、文化庁第10回県展選抜展、宮城県芸術選奨新人賞、創型展文部大臣奨励賞、宮城県文化教育功労彰、宮城県芸術選奨受賞、宮城県芸術協会50周年感謝状受章など、賞多数。東京、大阪、名古屋など全国で個展を開催するほか、グループ展に出品。

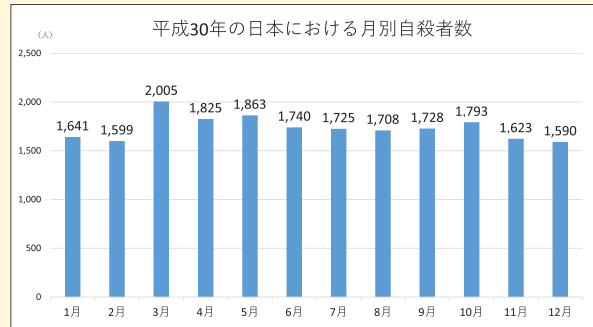


☎健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第65回のテーマは「自殺予防」についてです。

自殺対策基本法では、例年、月別自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。

平成30年の日本の自殺者数は20,840人で、宮城県や国では減少傾向にありますが、当町においては年によって増減があります。



自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、追い込まれる前に周囲の人に相談できたり、周囲の人が自殺のサインに気付くことで防ぐことができる社会的な問題です。

周囲の人が悩んでいたなら優しく声をかけてください。そして相談窓口を紹介してください。

仙台いのちの電話 TEL022-718-4343 (年中無休、24時間受付)

宮城県自死対策推進センター TEL0229-23-0028 (平日 9:00~16:00)

かけがえのない大切な命をみんなで守りましょう。

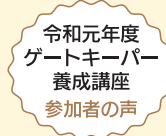
自殺のサイン(自殺予防の十箇条)

次のようなサインを数多く認める場合は、自殺の危険が迫っています

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 うつ病の症状に気をつけよう | 6 職場や家庭でサポートが得られない |
| 2 原因不明の身体の不調が長引く | 7 本人にとって価値のあるもの(職、地位、家族、財産)を失う |
| 3 酒量が増す | 8 重症の身体の病気にかかる |
| 4 安全や健康が保てない | 9 自殺を口にする |
| 5 仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う | 10 自殺未遂におよぶ |

出典：内閣府「自殺対策白書 平成20(2008)年版」

悩んでいる人のサインに気付き、声をかけ、話を傾聴し、必要な支援につなげ、見守る人のことを「ゲートキーパー」と呼び、誰もがゲートキーパーの役割を担うことができます。町では、ゲートキーパー養成講座を開催し、ゲートキーパーの普及に努めています。



- ・人の心に寄り添うことの難しさ、大切さがわかった。
- ・学んだことを仕事で活かしたい。
- ・傾聴の大切さが改めて理解できた。

広 告

広 告

まちかど NEWS



子どもたちと豆まきを
楽しむ親善大使のお二人。



子どもたちも元気いっぱい鬼を退治していました。

園児と一緒に「鬼は外」

NEWS

2月3日(月)、船岡保育所で行われた節分の豆まきに、「柴田町東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン親善大使」のマリア・マカロワさんと、アリーナ・セベツェさんが参加し日本の風習を体験しました。

手作りの鬼のお面をかぶった園児らと一緒に、紙で作った豆をまいて、鬼を追い払いました。

マカロワさんは、「なかなか日本の文化に触れる機会がなかったので、とても面白い体験ができました」と話しました。

佐藤九二一さんの100歳をお祝い

楳木新町1丁目の佐藤九二一さんが、2月11日(火)に100歳を迎えられ、14日(金)にはご家族や地域の方が集まり、100歳のお祝いが行われました。

絵画や陶芸など、多彩な趣味をお持ちの佐藤さん。特に陶芸は30年以上の間、子どもたちに陶芸教室を開き、陶芸の楽しさを教えてきたそうです。

お祝いの席では、笑顔で「ありがとうございます」と感謝を述べられていました。いつまでもお元気でいてください。



ご自身の窯を持つほど陶芸に入れ込まれていた佐藤さん。



文化祭の収益は全て、被災した近隣市町へ寄付するそうです。

柴田高校生徒会から 災害への見舞金をいただきました

NEWS

1月31日(金)、柴田高等学校生徒会から、台風19号被害の復興に役立ててほしいと、文化祭の収益3万円を見舞金として寄付いただきました。

生徒会長の佐藤菜生さん(2年生)が、「被災した友人が、大変な思いをしているのを見ました。少しでも被災者の方の役に立てればと思います」と話されると、滝口町長は、「困っている人のためにという気持ちがとても嬉しく思います。大切に使用させていただきます」と感謝を述べました。

広 告

広 告

新しい地域おこし協力隊を紹介します

柴田町地域おこし協力隊が着任し活動を開始しました。地域おこし協力隊とは、都市部の人材を積極的に受け入れ、さまざまな地域活動を通じて地域の活性化のために活躍してもらい、将来的には起業や定住を図ることを目的としています。

問 まちづくり政策課 TEL54-2111



かみ たくおん
鎌田 温 さん
年齢 28 歳
出身地 仙台市

柴田町地域おこし協力隊に昨年12月から着任し、「カフェ&コワーキングスペース」を拠点に活動しています。

衣食住の食・農業、住・建築、ものづくりをテーマに、今まで柴田町内には無かった経営方法や技術を習得するため、町外の企業に出向き、経験を積んでいます。

将来的には、そこで学んだことを基に、地域の方が元気になれるカフェや、民泊の開業を目標にしています。

協力隊は3年というリミットがありますが、「地域おこし」というからには自身の起業だけでなく、自分の特技や知識を生かした地域貢献をしていきたいと考えています。今までの経験から、肉体が一番の資本であり、健康寿命を無理なく楽しく延ばしていくことが地域の活性化に繋がると思っています。そこで、地域の皆さんとコミュニケーションをとれるようなプチ健康教室や、ワークショップなども開催したいと思います。

これから皆さんが求めていることを実現して、地域が明るく元気になるお手伝いをしていきますので、よろしくお願ひします。

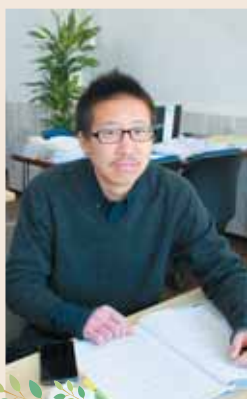
2月から柴田町地域おこし協力隊に着任しました。

自分は幼少期の頃、マクロビオティック（玄米菜食）で育ったことがきっかけで「食」に興味を持ち、20歳の頃からバル、タイ料理、珈琲屋など食に関わる仕事をしてきました。

地方で飲食店の起業を目指し、さまざまな職（食）を経験してきましたが、二年前から働きはじめた蕎麦屋で蕎麦作りが大好きになり、蕎麦屋を起業したいと考えました。起業できる地方を探していたところ、柴田町地域おこし協力隊の募集を見つけ、実際に柴田町に来てみると、低山に囲まれて河川敷があるなど趣味のランニングにも最高の環境と思い、応募させてもらいました。

私は普段「カフェ&コワーキングスペース」に居ることが多いので、気軽に声をかけてもらえる嬉しです。

まだ来たばかりですが、柴田町を盛り上げられる一人になれるように頑張ります。これからよろしくお願ひします。



ひら つか ゆたか
平塚 優 さん
年齢 29 歳
出身地 神奈川県横浜市

告 告

告 告



こうほう 文芸

短歌

箱根路を若き獅子等は駆けてゆく
抜かれて抜いてシード権とる
船岡 可沼 妙子

朝まだき寒空低く白鳥の
雄姿並びて旅路飛び行く
槻木 平間 三郎

フキノトウ一足早い春の膳
温かご飯にバツケみそ
西船迫 下浦 智子

朝霧に浮かぶイグネのシルエツト
春はあけぼのふる里うるわし
四日市場 鳥井崎七十老

前回があまりに良くて今回は
それほどでない奮起をせねば
西船迫 安ヶ平良三

成長か食べれる野菜増えた孫
だけどパプリカ大人の味と
本船迫 森田 眞六

真剣にテレビに写る顔ありて
自分に褒美チョココレート
船岡 伊藤タイ子

死にも至るコロナウイルス恐ろしき
かわいらし名が少しの救い
船岡 沢田 順子

川柳

増税で控えたはずがまた酒屋
四日市場 鳥井崎七十老

残り柿鳥さえ食はず雪化粧
西船迫 H・G

ゲームより割り箸鉄砲なつかしい
西船迫 安ヶ平良三

この地域スーパードイツばい今日はどこ?
船岡 小林 夢子

長生きは健康寿命で過ぎたい
船岡 阿部美代子

笑顔こそ健康うながす素となる
槻木 加藤 マサ

命とるセシウム・ウイリス目に見えぬ
槻木 村上 紫寿

俳句

青春の汗をつなぐや箱根みち
船岡 可沼 妙子

春風に探る蜘蛛糸命綱
槻木 平間 三郎

杜子春の叫び聞ゆる雪間かな
石母田星人

物売りの長き口上春の蠅
鎌形 清司

水音の光となりて冴返る
齋藤 善則

ヒヤシンス野性となりぬ浜通り
鈴木 三山

迷路めく読み取りコード鳥雲に
鈴木 清子

遠き日の桃の缶詰春の風邪
鈴木 幸子

月は今地球の裏か青き踏む
相馬カツオ

薄雲の去りては湧きぬ春の風邪
峠 三枝子

夢新た船出をはばむ春の風邪
吉田 啓子

消防のはつびに守られどんどの火
西船迫 佐藤 厚子

冬空に早春を先どりヒヤシンス
船岡 安藤 節子

福寿草空を仰ぎて出番待つ
西船迫 安ヶ平奈津枝

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで3月11日(水)まで応募ください。 〇まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



「花のまち柴田」のまちづくりに小・中学生も貢献

— 桜まつりの外国人観光客おもてなしに挑戦 —

「花のまち柴田」の小・中学生は、英語で柴田町のすばらしさを世界に情報発信することを目指す、「サクラプロジェクト活動」に取り組んでいます。放課後には、各学校を会場に、有志の子どもたちを対象にして、町内在住の平間礼さん、後藤由季子さんに推進役となっただき、「放課後英語楽交」（各校で年間10回程度）を行っています。「放課後英語楽交」は、その名称を見てお分かりのように、推進役のお二人、そしてALT（外国語指導助手）と子どもたちが英語で楽しく交流する活動です。

活動の成果として、一昨年度から柴田町の子どもたちが桜まつりに訪れる外国人の方々をおもてなしする活動を行っています。この活動は船岡城址公園や船岡駅などで行っています。一昨年度は河北新報に取り上げられ、昨年度はNHKなどテレビ局3社が来て、子どもたちの活躍する姿が放映されました。「ジュニア（子どもたち）がおもてなしするボランティア活動」を表す英単語“Junior Omotenasi Volunteer”のそれぞれの単語のはじめのアルファベットをつなげて、「JOV活動」と名付けました。

柴田町の桜まつりに訪れる外国人の方々は、年を追うごとに増えてきています。船岡城址公園の桜や千桜橋から眺める一目千本桜と雪を頂く蔵王連峰は世界に誇れる美しさです。「花のまち柴田」の子どもたちは、今年も桜色のジャンパーを着用して「JOV活動」に取り組みます。外国人観光客をおもてなしする子どもたちの姿をご覧いただきましたなら、温かい励ましの言葉をかけていただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひします。



「放課後英語楽交」でALTから英語を学ぶ子どもたち



昨年の桜まつりで、外国人観光客に町の観光案内をする子どもたち



「放課後英語楽交」の感想

東船岡小学校 ひらま 平間 そうた 颯太（5年）

「放課後英語楽交」では、英語でのおもてなしの言葉や道案内の仕方などを学んでいます。平間先生や後藤先生がとても丁寧に教えてくださるので、覚えやすいです。また、英語でのゲームも取り入れていただき、ALTの先生と一緒に、楽しみながら英語を覚えることができます。6年生になっても参加したいと思っています。



今年の「JOV活動」への意気込み

船迫中学校 あけま 明間 さくら 咲来（1年）

私は、「JOV活動」に去年も参加しました。今年は、去年よりもっとたくさんの方々に、そして、困っている外国人の方がいたら、積極的に声をかけ、「また来てみたい」と思ってもらえるように、笑顔で精一杯のおもてなしをしようと思っています。当日は、仲間のボランティアメンバーと協力して、全力で取り組みます。

広 告

広 告

宮城発、世界に誇れる 光デバイスの発信地へ

北日本電線株式会社榎木事業所
山下 悠斗さん（37歳）

今回は、電線事業、エンジニアリング事業、ヒーティング事業などを展開する北日本電線株式会社榎木事業所で、光デバイス製品の開発を行っている山下悠斗さんを紹介します。



山下さんは、大学時代にインターンシップで北日本電線を訪れた際に、入社直後から開発を行える環境と、大学で行っていた分野の研究が行える事に魅力を感じて入社し、今年で15年目になります。

山下さんが開発を行う光デバイスは、主に光通信のインフラを支える製品で、微細加工と精密光調芯技術を駆使した北日本電線の製造技術は、国内トップレベルを誇り、国際的な評価機関からも品質の認証を受けるなど、国内外で高い評価を得ています。「弊社はお客さまのニーズに合わせて製品開発を行います。要望を満たせるように設計し、自社工場での製品を製造します。開発に要する期間は数カ月から数年とさまざまですが、今までご要望に際えることができなかったことはありませんでした」と話します。

仕事に対する思いについて伺うと、「海外で仕事をしたい」との思いがあり



微細加工されたガラス部品の検査を行う山下さん



北日本電線株式会社榎木事業所
柴田町大字葉坂字白坂54-1
TEL58-7200

昭和21年創立（本社仙台市）。平成12年に榎木事業所を開設。光関連部品、電力関連資機材、融雪商品、床暖房などの開発製造を手掛ける。
従業員151人

ましたが、海外から受注する開発に携わらせて貰うこともあり、その思いが達成された気持ちになります。また、お客さまと顔を合わせながら仕事を進めているので、開発が成功し喜んでもらえる姿を見るとやりがいを感じます。多くの職員の手を経て完成した製品が、工場からリリースされる瞬間が嬉しくて、初出荷に立ち会ったりもしています」と教えてくれました。

入社以来、顕微鏡越しに髪の毛より細かいガラス部品を扱い、新しい技術や製品を開発してきた山下さんですが、昨年の4月からは技術グループの主任になり、一層責任が増したと話します。今後の目標について伺うと、「光技術の発展に努め、素晴らしい技術を持った会社が宮城にあるということ、多くの方に知ってもらいたい」と思いを語ってくれました。

これからの最先端技術を担う技術者として頑張ってください。

人口と世帯数
(令和2年2月1日現在)



37,562人
(前月比35人減)



18,729人
(前月比15人減)



18,833人
(前月比20人減)



15,819世帯
(前月比17世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。